

栃木県流域治水プロジェクト

令和6（2024）年6月20日

栃木県減災対策協議会

1 背景

近年、令和元年東日本台風等、全国各地で水災害が頻発・激甚化しており、また、気候変動の影響により21世紀末には全国平均で降雨量は約1.1倍、洪水の流量は約1.2倍、洪水発生頻度は約2倍になると予測されています。

これら降雨量が増大する中において水災害を軽減させるためには、河川管理者による対策だけでなく、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む治水対策「流域治水」を推進することが必要です。

 これらの状況を踏まえ、「栃木県流域治水プロジェクト」を作成することとしました。

2 目的

本プロジェクトを策定することにより、水災害を軽減させる取組を流域のあらゆる関係者で共有するとともに、流域治水に対する参加意識の醸成を図ります。

また、本プロジェクトの対策を流域のあらゆる関係者が取り組むことで、水災害の軽減を図ります。

3 内容と特徴

本プロジェクトでは、流域のあらゆる関係者が取り組む対策を次のとおり取りまとめております。

- 県内を11流域に分割し、流域毎にプロジェクトを作成
- 水災害を軽減させるため、3つの対策を柱に治水対策を取りまとめ
- 流域のあらゆる関係者のそれぞれの取組内容や場所、時期を明示
- 水災害を軽減させるための各主体の取組事例を具体的に明示

4 フォローアップ

毎年出水期前に開催する栃木県減災対策協議会において、取組の進捗状況を確認するとともに、必要に応じて本プロジェクトを見直すこととします。

目次

栃木県流域治水プロジェクト（県全域）	1
栃木県流域治水プロジェクト【ロードマップ】（県全域）	2
流域分割図	
利根川（支川思川）流域	3
利根川（支川巴波川）流域	4
渡良瀬川流域	5
鬼怒川下流域	6
鬼怒川上流域	7
小貝川流域	8
那珂川下流域	9
那珂川上流域	10
那珂川（支川逆川）流域	11
那珂川（支川荒川）流域	12
那珂川（支川箒川）流域	13
対策事例	
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	14
被害対象を減少させるための対策	24
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	27
みんなのできる、身近な流域治水の取組	46